

教科目名 社会技術概論

専攻名・学年 : 全専攻 1 年 (教育プログラム 第 3 学年 ◎科目)

単位数など : 必修 2 単位 (後期 1 コマ, 授業時間 23.25 時間)

担当教員 : 久保山力也

授業の概要			
現代社会における社会技術について様々な角度から分析し、技術者として身につけておくべきセンスの獲得をはかる。講義においては毎回テキストにそってゼミ形式で行う。積極的な発言、主体的な参加を特に重視する。			
達成目標と評価方法		大分高専目標 (A2) (E2), JABEE 目標 (b) (d1)	
(1) 社会技術に関し、多角的に思考することができる。(定期試験) (2) 社会技術の要諦を理解することができる。(定期試験) (3) 具体的事案にそくし、体系的に議論することができる。(定期試験) (4) 将来起こりうる事態に際し、積極的な解決施策を提案できる。(定期試験)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	社会の中の技術、社会のための技術	○社会のための技術について理解できる。	【理解の度合い】
2	BSE の経験	○BSE の経験について理解できる。	
3	安全な社会をデザインする	○安全な社会のデザインを理解できる。	
4	先端科学技術と社会	○先端技術と社会について理解できる。	
5	社会のための科学技術	○社会のための科学技術を理解できる。	
6	科学技術と社会のコミュニケーション・デザイン	○コミュニケーション・デザインを理解できる。	
7	これからの科学技術リテラシー, 科学技術への市民社会	○科学技術リテラシーについて理解できる。	
8	後期中間試験	○科学・技術と民主主義を理解できる。	
9	科学・技術と民主主義	○知識・権力・政治について理解できる。	
10	知識・権力・政治	○社会に役立つ知識について理解できる。	
11	社会に役立つ知識とは	○科学技術と公共政策を理解できる。	
12	科学技術と公共政策	○海外の社会技術について理解できる。	
13	海外の社会技術	○科学技術と倫理の新次元について理解できる。	
14	科学技術と倫理の新次元, 社会技術のこれから		
15	後期期末試験		【試験の点数】 点
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	毎回主体的に講義に参加すること。		【総合達成度】
教科書	小林信一編著『社会技術概論』(改訂版), NHK 出版放送大学教育振興会。		
参考図書	特になし。		
自学上の注意	テキストを参照すること。		
関連科目			
総合評価	【定期試験】達成目標 (1) (2) (3) につき 1 回の試験により評価。 【合格ライン】総合評価 60 点以上を合格とします。 【再試験】総合評価が 60 点に満たない者に対して実施します。		【総合評価】 点